

# 社会科（歴史的分野）学習指導案

展開学級 2年

## 1 単元名

「第5章 開国と近代日本の歩み 1節 欧米における近代化の進展」

## 2 単元について

### (1) 単元観

本単元の「第5章 開国と近代日本の歩み 1節 欧米における近代化の進展」は「中学校学習指導要領 第2章 第2節 社会」において、「歴史的分野 2内容 C近現代の日本と世界」の中に位置付けられている。本単元では、欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解することをねらいとする。また、その過程において、政治体制の変化や人権思想の発達や広がり、現代の政治とのつながりなどの事象を相互に関連付けながら多面的・多角的に考察し、表現することも併せてねらいとする。

中世ヨーロッパの象徴であった封建制度は、貨幣経済の浸透による荘園制の崩壊や十字軍の失敗によるローマ教皇権の弱体化などの影響を受けて崩壊していき、16世紀ごろから国王の下へ権力が集中する主権国家体制へと移行していった。初期の主権国家は絶対王政とも呼ばれ、スペインやフランスでは官僚制や常備軍の整備が王権を支え、重商主義政策によって財政の充実が図られた。

なかでもイギリスはピューリタン革命と名誉革命を経て、王権に対する議会の優越が定められ、「王は君臨すれども統治せず」という形態の立憲君主制が成立し、議会政治が確立されていった。そのような中で、17世紀初頭以降に北アメリカ大陸で成長したイギリス領植民地は、重商主義政策への反発から本国と対立し、18世紀後半に独立戦争を起こして人間の自由と平等を説く独立宣言を發表し、アメリカ合衆国として独立した。このアメリカ独立戦争の結果はフランス絶対王政下で封建的特権身分から抑えつけられていた人々に影響を与え、その打破を掲げたフランス革命の勃発へと至ると、アメリカ独立宣言になった人権宣言が發表された。

このように、イギリスの諸革命やアメリカ独立戦争、フランス革命は封建的特権の廃止を求め、人間の自由と平等に立脚した市民社会を打ち立てる「市民革命」の性格を帯びていた。こうした市民革命はロック、モンテスキュー、ルソーらの啓蒙思想に後押しされた。

こうした市民革命、とりわけフランス革命によって国民主権の概念や人間平等の理想がかかげられたことや、その後のナポレオンの大陸征服の過程において、各国の人々に「国民」として意識が芽生えだした。これは欧米各国が行った徴兵制や義務教育、政党政治などの政治制度の整備によってさらに強まっていき、国民国家の形成が急速に進んだ。

また、18世紀にイギリスでは綿織物の国産化を目指す過程でおこった技術革新が産業革命へと発展し、資本主義社会が成立した。19世紀には他の欧米諸国でも産業革命がおこり、市民革命による封建的特権の廃止は自由競争を前提とする資本主義社会を後押しした。一方で資本主義社会は格差の拡大や公害などの社会問題を生み、その矛盾をつく社会主義が生まれると、マルクスらの著作などを通じて各国に広まった。

以上を踏まえ、本単元を貫く問いを「近代化とはどのようなことか。欧米諸国の発展に見られる

共通点から考えよう。」とした。近代化という概念には様々なとらえ方があるが、ここでは「封建的特権の廃止を経て『民主化』『国民国家形成』『資本主義化』へと至る一連の過程を指す。」と定義する。欧米諸国で見られた諸事象の共通点に着目させ、「近代化」という歴史学習において必ず出てくるにもかかわらず、あいまいである概念について生徒たちに考えさせたい。また、本単元で近代化の概念をとらえておくことは、その後の我が国の明治以降の近代化を理解する上でも極めて有効であると考えられる。

(2) 本校の社会科研究主題との関連

本校社会科の研究主題「学習意欲を喚起し、主体的・対話的な学習活動を図るための授業実践～問題解決的な学習の工夫を通して～」を踏まえ、単元において、主体的に考え判断し、表現する場面を適宜設定する。学習課題を明確にし、他者との対話的な活動を通じた課題（問題）解決型の学習を行うことや、ICTを適切に活用することで生徒の学習意欲を喚起したい。ICT活用の具体例として、本授業においては、授業のまとめとして、ギガタブ上の振り返りフォームを使用し、学習内容の確認を行い、定着へとつなげるねらいがある。

(3) 生徒の実態（2年C組 男子15名、女子15名 計30名）

●学習方法に関する質問

④ 授業中に他の生徒と協力して学習することは好きですか？

好き：20名（66.7%）                      どちらかという好き：7名（23.3%）  
どちらかという嫌い：3名（10%）      嫌い：0名

⑤ 社会の学習において、どのような授業が理解しやすいですか？（複数回答可）

・教科書を読む：19名（63.3%）                      ・図や表に整理する：11名（36.7%）  
・グループで話し合う：20名（66.7%）                      ・一人で調べる：11名（36.7%）  
・他の人の発表を聞く：5名（16.7%）                      ・動画や写真を見る：23名（76.7%）  
・教員の説明を聞く：20名（66.7%）                      ・自分なりにノートにまとめる：15名（50%）

●本単元に関する質問

⑥ 「近代化」という言葉を聞いてどのようなイメージを持っていますか？（いくつか抜粋）

・スマホ                      ・機械を使用し始める                      ・考え方が変わる、新しく発展する  
・技術が高まる                      ・AIが発達してる社会                      ・新しいものがどんどん出てくる感じ

⑦ 「革命」という言葉を聞いてどのようなイメージを持っていますか？（いくつか抜粋）

・今の悪い現状からいい方向へ変わっていく、変えていくイメージ  
・新しいものへと移り変わる感じ  
・下剋上のように一人の王に従っていた人々が反乱を起こして倒すイメージ  
・今までの常識がひっくり返されるイメージ  
・わからない

⑧ 「革命」という言葉がつく歴史的な出来事で知っている言葉があれば書いてください。

・フランス革命      ・産業革命      ・ロシア革命      ・エネルギー革命      ・ピューリタン革命  
・名誉革命              ・わからない

⑨ 日本と欧米諸国（アメリカ・イギリス・フランスなど）では、どちらが歴史的に見て先に近代化したと思いますか？

日本：1名（3.3%）      欧米諸国：21名（70%）      わからない：8名（26.7%）

⑩ ⑨で日本を選んだ人はそう思った理由を書いてください。

・日本は昔から国学や他の国を見て真似してきたから。

⑪ ⑨で欧米諸国を選んだ人はそう思った理由を書いてください。(いくつか抜粋)

- ・欧米などのほうが優れている気がするから。
- ・日本にたくさんの文化を伝えているから。
- ・日本は遅れて発展していったと聞いたことがあるから。
- ・鎖国を長い間していた日本は他国との技術差が大きいと思うから。
- ・鉄砲などを日本に伝えたのはヨーロッパだから。
- ・欧米諸国には Google や apple といった大企業があるから。

歴史学習に関する質問からは、歴史について学ぶことに前向きな生徒が多いことがわかる。映画やアニメ等の影響から、歴史を物語ととらえたときの面白さに言及している生徒や、現代へのつながりに興味を示す生徒も多かった。また、暗記学習となりがちな歴史学習だが、それが好きという生徒も一定数いた。一方で歴史学習について「どちらかという嫌い」、「嫌い」と答えた生徒は、その宿命ともいえる暗記を苦手としており、そこへの嫌悪感が滲む形となった。

学習方法に関する質問からは、生徒の9割が他者とともに学ぶことに肯定的な感情を抱いていることがわかる。理解しやすい具体的な学習方法については、「動画や写真を見る」を選択した生徒が76.7%にのぼり、最も高かった。次いで、「グループで話し合う」「教員の説明を聞く」がそれぞれ66.7%で同率2番手となった。4番手には「教科書を読む」が63.3%で続いた。

本単元に関する質問からは、「近代化」や「革命」などの歴史事象に対するイメージを聞いたが、「近代化」については「新しくなる」というイメージの生徒が多く、歴史区分上の「近代」を想定している生徒はほとんどいないことがわかる。「革命」についても「何かが劇的に変わる」というイメージの生徒が多かった。日本と欧米諸国の近代化については、7割の生徒が欧米諸国の方が早かったと認識している。その理由については、現代の欧米諸国（特にアメリカ）と日本を比較した上での発展の様子から推定しているものや、これまでの歴史で学習してきた日本と海外との関わりから欧米諸国の方が、発展が早かったはずと予想しているものが見られた。一方で「わからない」と答えた生徒は26.7%おり、こうした推定が困難であった生徒がいたこともわかる。

以上から、本単元では、歴史学習に前向きな生徒の姿勢を生かしつつ、苦手な生徒についてはグループ学習などを通して他者と協力しあえる場面を設定することで学級全体の学習レベルを最大化したい。生徒の意欲を高めるために、写真や絵などの資料を使った思考活動を取り入れ、学習の振り返りにはICT（ギガタブ）を活用する。本単元でとらえさせたい「近代化」という概念について、歴史的な捉え方に迫れるように、欧米諸国の発展に見られる共通点を意識した単元指導を心掛けたい。

### 3 単元の目標

- (1) 欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解できるようにする。  
(知識及び技能)
- (2) 工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現できるようにする。  
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 欧米における近代社会の成立過程に見られる共通点について主体的に追究し、見いだそうとする態度を養う。  
(学びに向かう力、人間性等)

#### 4 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させたことを理解している。	工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	欧米における近代社会の成立過程に見られる共通点について主体的に追究し、見いだそうとしている。

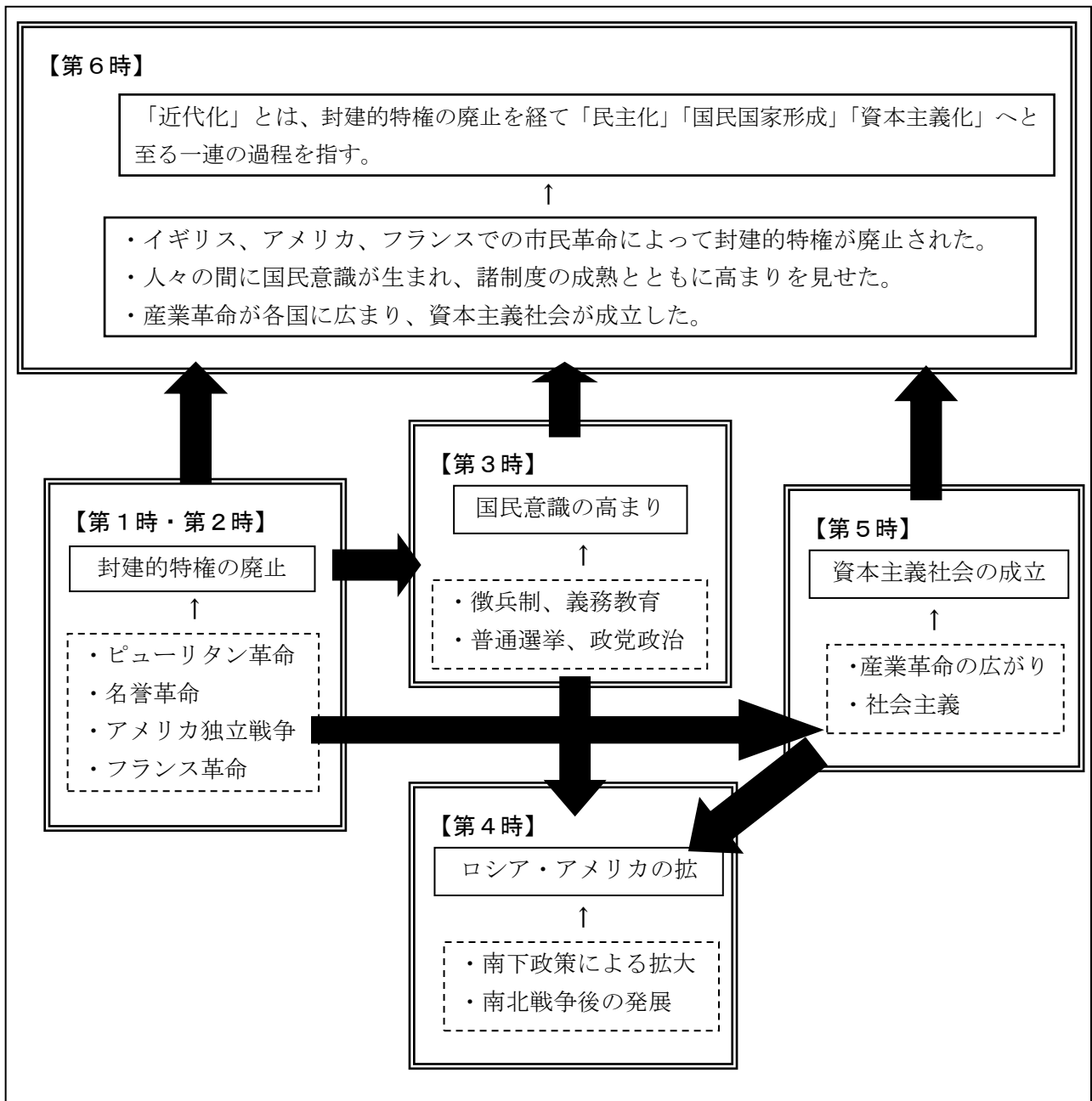
#### 5 単元の学習計画（6時間扱い）

(○…評定に用いる評価 ●…学習改善につなげる評価)

時	主な学習内容	知	思	主	評価
1	○イギリスとアメリカの革命 ・近世ヨーロッパの動向 ・イギリス革命 ・アメリカの独立革命  ◆単元を貫く問いの設定	●			●イギリスとアメリカが近代革命を経て近代国家を形成していった過程を理解している。 (知識・技能) ●イギリスとアメリカの政治の変化と現代の政治とのつながりを考察し、表現している。 (思考・判断・表現)
「近代化」とはどのようなことか。欧米諸国の発展に見られる共通点から考えよう。					
2	○フランス革命 ・フランス革命の始まり ・ナポレオンの時代	●			●フランスが近代革命を経て近代国家を形成していった過程を理解している。 (知識・技能) ●フランスの政治の変化と現代の政治とのつながりを考察し、表現している。 (思考・判断・表現)
3	○ヨーロッパにおける国民意識の高まり ・「国民」の登場 ・ヨーロッパと中南米諸国の動向	●			●ヨーロッパで国民国家が形成されていく過程と中南米諸国の独立を理解している。 (知識・技能) ●フランス革命の影響とヨーロッパにおける国民意識の高まりを考察し、表現している。 (思考・判断・表現)
4	○ロシアの拡大とアメリカの発展 ・ロシアの拡大 ・アメリカ合衆国の発展 ・南北戦争	●			●ロシアとアメリカ合衆国が領土を拡大し、発展していく過程を理解している。 (知識・技能) ●アメリカ合衆国の発展の一方で、先住民の強制移住や黒人への人種差別などの問題があったことを考察し、表現している。 (思考・判断・表現)
5 本 時	○産業革命と資本主義 ・産業革命 ・資本主義の発展と社会問題 ・社会主義の広がり	●			●産業革命による社会構造と経済の仕組みの変化によって、資本主義社会が成立した過程を理解している。 (知識・技能) ●資本主義社会の歪みから社会主義思想が広まった背景について、考察し、表現

					している。 (思考・判断・表現)
6	○近代化とはどのようなことか ・欧米諸国に見られる共通点 ・「近代化」の定義			○	○「自由・平等を求める革命」「国民主権」「国民意識」「産業革命」「資本主義」などの、欧米諸国の発展過程における共通点について主体的に追究し、見いだそうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度) ○共通点に着目し、「近代化」について自分なりに定義し、表現している。 (思考・判断・表現)

## 6 思考の深化に対応した単元の指導計画



※囲み線は、事実的認識の段階（第一段階 ..... 第二段階 \_\_\_\_\_ ）

## 7 思考の構造図

### 【事実的認識の第三段階】

封建的特権の廃止を経て「民主化」「国民国家形成」「資本主義化」へと至る一連の過程（＝近代化）において、「近代」という時代が成立していった。



### 【事実的認識の第一・第二段階】

A イギリス、アメリカ、フランスにおける市民革命によって封建的特権が廃止された。

- a ロック、モンテスキュー、ルソーらの啓蒙思想が市民革命に影響を与えた。
- b イギリスでピューリタン革命がおこり、国王が処刑され、共和制が始まった。
- c イギリスで名誉革命がおこり、世界初の立憲君主制と議会政治が始まった。
- d アメリカで独立戦争がおこり、人間の自由・平等をうたう「独立宣言」が発表された。
- e フランス革命がおこり、自由・平等・国民主権をうたう「人権宣言」が発表された。
- f フランスでナポレオンが皇帝になり、ヨーロッパの大部分の支配者となった。

B 人々の間に国民意識が生まれ、政治、国防、教育などの諸制度の成熟とともに高まりを見せた。

- a フランス革命の影響により、人々の間に「国民意識」が生まれた。
- b 徴兵制や義務教育の普及、憲法や議会の誕生により、「国民意識」が高まっていった。
- c フランスでは普通選挙が確立し、イギリスでは政党政治が発達した。
- d ビスマルクの下にドイツが統一され、強大な帝国となった。
- e アメリカで南北戦争が起こり、北部がリンカン大統領の下に勝利して奴隷を解放した。

C イギリスでの産業革命が各国に広まり、資本主義社会が成立した。

- a イギリスで産業革命がおこり、欧米諸国へ広まった。
- b 産業革命の結果、資本家が労働者を雇って生産活動を行う資本主義社会が成立した。
- c 資本主義の発展が社会問題につながり、それらの解決を目指した社会主義が生まれた。
- d ロシアが不凍港を求めて南下政策をとり、工業を急速に発展させた。
- e 南北戦争後にアメリカが発展し、世界最大の資本主義国となった。

D 「近代化」とは、封建的特権の廃止を経て「民主化」「国民国家形成」「資本主義化」へと至る一連の過程を指す。

- a イギリス、アメリカ、フランスでの市民革命によって封建的特権が廃止された。
- b 人々の間に国民意識が生まれ、諸制度の成熟とともに高まりを見せた。
- c 産業革命が各国に広まり、資本主義社会が成立した。

## 8 本時の指導

### (1) 本時の目標

① 産業革命による社会構造と経済の仕組みの変化によって、資本主義社会が成立した過程を理解できるようにする。

(知識及び技能)

② 資本主義社会の歪みから社会主義思想が広まった背景について、考察し、表現している。

(思考力・判断力・表現力等)

### (2) 本時の展開

(●…学習改善につなげる評価)

時間	学習内容と活動	指導上の留意点及び支援の工夫 (○) 評価項目 (●)
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中世の機織りと紡績工場の資料を比較               <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業している場所、使用している器具、作業の規模などの違いを確認</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相違点をワークシートに書き込ませる。書き込んだ内容を他の生徒たちと共有させる。</li> <li>○紡績工場の様子から工場での機械生産が進んだことをつかませる。(産業革命のおこり)</li> </ul>
<b>学習課題「産業革命によって欧米諸国の社会の仕組みはどのように変化したのだろうか」</b>		
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆産業革命の概要を整理する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・綿織物の国産化 → 技術改良の進展</li> <li>・蒸気機関の発明 → 工場や鉄道の動力源</li> <li>・複数分野で発展 → 「世界の工場」</li> <li>・イギリスから他の欧米諸国への広まり</li> </ul> </li> <li>◆産業革命によって資本主義社会が成立した過程について整理する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・資本家が労働者を雇う</li> <li>・利益追求・自由競争</li> <li>・生産力向上による物の豊かさ</li> </ul> </li> <li>◆複数の資料から資本主義社会の問題点を考える。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・資本家と労働者の格差拡大</li> <li>・子どもや女性の低賃金長時間労働</li> <li>・ばい煙や排水による公害</li> </ul> </li> <li>◆社会主義の登場について整理               <ul style="list-style-type: none"> <li>・資本主義で生じた格差や貧困の解決</li> <li>・平等社会の実現と各国への広まり</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○概要をワークシートに整理する。</li> <li>○資本主義の概念や資本主義社会の性質についてワークシートに整理する。</li> <li>○「工場で働く子どもの証言」、「ロンドンのスラムの様子」、「ロンドンの舞踏会」、「テムズ川の汚染の風刺画」を提示し、それぞれから考えさせる。</li> <li>○個人で考えたあとに小グループで共有する。</li> <li>○社会主義が登場した背景と広まりについてワークシートに整理する。</li> </ul>

<p>まとめ 10分</p>	<p>◆産業革命による欧米諸国の社会の仕組みの変化についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ギガタブ上の振り返りフォームを利用して、学習した基礎的な語句について小テスト形式で確認する。</li> <li>・産業革命による欧米社会の変化について自分の言葉で記述し、提出する。</li> </ul> <p>◆複数人の意見を取り上げ共有する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>産業革命によって、資本主義という仕組みが生まれたが、その問題点を克服しようと社会主義という考え方も生まれ、各国に広まった。</p> </div>	<p>○文章記述については、「資本主義」「社会主義」を使用語句として指定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●産業革命による社会構造と経済の仕組みの変化によって、資本主義社会が成立した過程を理解できたか。(知識・技能)</li> <li>●資本主義社会の歪みから社会主義思想が広まった過程について、考察し、表現しているか。(思考・判断・表現)</li> </ul>
--------------------	--	---

(3) 本時の評価

- ① 産業革命による社会構造と経済の仕組みの変化によって、資本主義社会が成立した過程を理解できたか。(知識・技能)
- ② 資本主義社会の歪みから社会主義思想が広まった背景について、考察し、表現できたか。(思考・判断・表現)

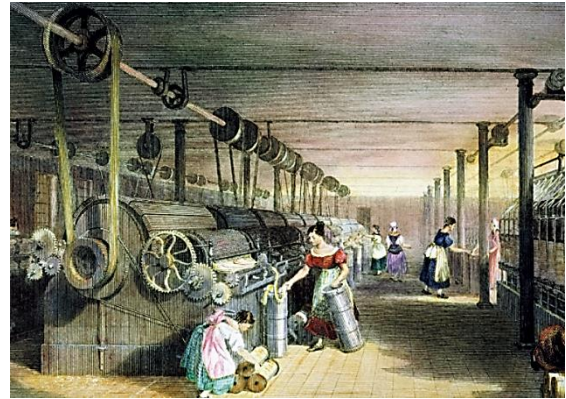


【資料】

①中世の機織り（左）と紡績工場（右）



(出典：Wikipedia のパブリックドメイン)



(出典：東京書籍『新しい社会 歴史』)

②資本主義社会の問題点

**5 工場で働く子どもの証言** (部分要約)

問：朝の何時に工場に行き、どのくらい働きましたか。  
答：朝の3時には工場に行き、仕事が終わるのは夜の10時から10時半近くでした。

問：休憩時間はどのくらいあてられましたか。  
答：朝食に15分間、昼食に30分間、そして飲み物をとる時間に15分間です。

問：遅刻した場合はどうなりましたか。  
答：5分遅刻しただけでも、給料を4分の1減らされました。

(出典：東京書籍『新しい社会 歴史』)



テムズ川の汚染の風刺画  
(出典：東京書籍『新しい社会 歴史』)



ロンドンのスラム街

(出典：帝国書院『最新世界史図説 タペストリー』)

9



ロンドンの舞踏会

(出典：Wikipedia のパブリックドメイン)